

4 月初旬の高温で生育が進み、発芽は昨年より 2～3 日早い状況です。このまま経過すれば、ナシ類の開花始めは昨年より早まると見込まれます。ただし、ここまでの小雪・少雨により土壌乾燥が著しく、開花のバラツキや貧弱花の多発が心配されます。結実確保のため、開花前までに定期的なかん水を実施し、園地内湿度を上げる等の対策を講じてください。また、生育が早い年度は、薬剤散布や摘蕾・摘花等の管理が遅れる傾向です。本年は特に早め々の意識の中で作業を進めてください。

◆ 和梨の定期防除

年度別の南水開花始め状況（調査地点：田麦沖）

年度	平年	H26	H27	H28
開花日	4/26	4/26	4/24	4/22 頃



開花期の薬剤散布（南水等が 1～2 分咲いた頃）

散布時期：4/18～24 頃（目安となりますので各園の生育をよく確認してください）

散布薬剤

水	1 0 0 リットル
展着剤	2 0 ml
サムコルフロアブル 1 0	2 0 ml（前日、3 回）＊注意事項③、④参照
ポリオキシソ水和剤	1 0 0 g（7 日前、5 回）

対象病害虫：黒斑病、黒星病、ケムシ類、ハマキムシ類

散布量：10 a 当たり 350 リットル

◆ 散布日：4 月 日

◆ 散布量： リットル

～ 注意事項 ～ ＊必ずお読みください。

- ① 訪花昆虫保護のため使用薬剤を厳守する。
- ② 収穫前や収穫中の作物への飛散に注意する。
- ③ アブラムシ類の発生が見られる場合は、ウララ DF2,000 倍（14 日前、2 回）を加用する。
- ④ 不明な点は営農センター担当までお問い合わせください。

◆ 西洋梨の定期防除は裏面をご覧ください。

◆ 西洋梨の定期防除



年度別ラフランスの開花始め状況（田麦沖）

	平年	H26	H27	H28
開 花	4/28	4/27	4/25	4/22 頃

開花期の薬剤散布（ラ・フランス等が1～2分咲いた頃）

◆ 散布日：4月 日

◆ 散布量： リットル

散布時期	4/18～24 頃（目安となりますので各園の生育状況をよく確認してください）
散布薬剤	水 1 0 0 ㍓ 当り 展着剤 1 0 ㍓ サムコルフロアブル 1 0 2 0 ㍓ （前日、3 回） *注意事項④参照 トップジンM水和剤 1 0 0 g （前日、6 回）
対象病害虫	腐らん病、輪紋病、(胴枯病)、ケムシ類、ハマキムシ類
散布量	10 ㍓ル当り：300 リットル
注意事項	① 訪花昆虫保護のため使用薬剤を厳守する。 ② 収穫前や収穫中の作物への飛散に注意する。 ③ アブラムシ類の発生が見られる場合は、ウララ DF2,000 倍（14 日前、2 回）を加用する。 ④ 赤星病の発生園では、オンリーワンフロアブル 2,000 倍(前日、3 回)を加用する。 ⑤ 不明な点は営農センター担当までお問い合わせください。

◆ 4 月中旬の重点作業

- ① 腐らん病対策（本年は早期多発傾向です。感染拡大にご注意ください）
腐らん病治療として患部の削り取りを行い、トップジンMペースト等を塗布してください。
腐らん病予防のため、大きな切り口等には至急トップジンMペースト等を塗布してください。
- ② 凍霜害対策
生育が早いため、降霜被害が心配されます。防霜資材の準備と定期的なかん水を実施し園地内湿度を上げる対策を講じてください。
- ③ 側枝の誘引
普通樹：主枝候補枝をオーロラ 45 度、ラ・フランス 30 度に誘引する。
わい台樹：側枝を水平誘引する。
- ④ 支柱やトレリスへの主幹の固定 *ゆるんだり切れたりしていないか、よく確認する。
樹が揺れると根が傷み生育が悪くなるので、主幹はしっかりと固定する。

✧ 結実安定対策
オーロラ等結実不安定な品種は必須作業です。人工受粉を徹底してください。

✧ 摘花(摘蕾)について
① すべて果そうごとの摘蕾・摘花として一輪摘花はしない。⇒摘花する果そうは・・・1 年枝(腋芽)の花、主幹部に直接着花したもの、遅咲きの貧弱な果そう、目通り以上で側枝の直下（真下）の果そう
② 目通り以下の花は、凍霜害が心配されるので多目に残すようにする。（極端に弱い果そうのみ実施する）